

育つ？育てる？

お話しいただいたのは
近藤 嘉人 先生

☆ある日の出来事

今日から、衛生士学校の学生が臨床実習に来ています。

初日の感想を聞いたところ「こんなにいっぱい子どもたちとお母さま方とお話をするんですね」とびっくりしていました。

私は、小児歯科として大切にしていることを感じてもらえたかな、と思えてうれしくなりました。

☆笑顔が大切

小児歯科が大人向けの歯科と大きく違う点は、子どもとはもちろんですが、保護者とのお話に長い時間をかけるよう心がけていることです。

例えば、赤ちゃんの歯科健診では、歯磨きや授乳についてなどの他に、「生まれてすぐは、20センチほどの距離しか見えていないけれど、舌を出す動きをまねするなど、すでに赤ちゃんは顔を認識していますよ」とか、「赤ちゃんにとって、怒った顔より無表情な顔の方がコワイんです」、「生後6カ月ごろから、無表情な顔をされると泣き出すようになり、10カ月ごろからは笑顔を見せて自分からご機嫌をとるなど相手への働きかけが始まるんですよ」など、お口とは直接関係がないお話もします。

これは、赤ちゃんのことをより知ってもらえば、日々の育児に役に立つだろうと思うからです。

☆「育つ」と「育てる」

「ウチの子はまわりの子と違うようだけど、大丈夫でしょうか？」と心配される声を聞くことがあります。

小さな子どもは無垢で無防備だから守らなければ、と考えられるからでしょう。また、こういう子に「育てたい」とのお気持ちから生じていると見ることもできます。

一方で、子どもは意外にシタタカで、生きのびるためにいろんな能力が備わっていることもわかってきました。子どもはたくましく「育つ」チカラを持っています。

☆育児の応援

「育児の主導権は子どもの側にある」とある先生がおっしゃいました。それに従えば「育つ」と「育てる」の両面を見な

がら、子どもが出すメッセージに向きあうことが育児なのでしょう。

私たちも、保護者からご相談を受けたときは一方的に解決策を提案してお答えする、というよりは、ヒントにつながるような情報を提供して、解決策と一緒に考えていく姿勢を大切にしたいと考えています。

子どものことを知れば知るほど、あの思いが湧いてきます。

「こどもはスゴイ！」



● 情報クリップ ●

「絵本の日エピソード大賞授賞式」はYouTubeで配信中です。心温まるエピソードをぜひご覧ください。なお契約駐車場が増えました。詳しくは「こどもの歯科」ホームページでご確認を。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00～18:30
●昼休み 12:30～14:00
●休診 木曜・祝日(土日診療)



H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
(市営 大橋駐車場をご利用ください)

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

